

# SC-F9350

# 操作ガイド

本書は、基本の操作とメンテナンスの方法を 説明しています。

#### 商標

[EPSON]、[EPSON EXCEED YOUR VISION]、

「EXCEED YOUR VISION」は、セイコーエプソン株式会社 の登録商標または商標です。

Mac、Mac OS、OS X、Bonjour および ColorSync は米国 およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。 Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft

Microsoft、Windows、Windows Vista は、未国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。 Adobe、Reader は Adobe Systems Incorporated (アド ビシステムズ社)の登録商標です。

YouTube および YouTube ロゴは、米国 YouTube 社 (YouTube,LLC)の商標または登録商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

#### ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負い かねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当 に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によっ て修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責 任は負いかねますのでご了承ください。

#### インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のイ ンクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のもの をご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が 出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合がありま す。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純 正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保 証期間内であっても有償修理となります。

# もくじ

マニュアルの見方 4	ŀ
マークの意味	1
安全に関するマーク 4 一般情報に関する表示 4	
掲載イラスト	1
動画マニュアルについて	1

各部の名称 6
---------

正面	6
スライダー	6
内部	7
背面	7

	基本の操作		8
--	-------	--	---

メディア取り扱い時のご注意8
メディアセット時のご注意8
メディアのセット方法9
自動巻取りユニットの使い方 15
正しく巻き取るための注意点 15 紙管の取り付け 16 内巻きでの巻き取り方 19 外巻きでの巻き取り方 21
セットしたメディアの設定
巻き取ったメディアの取り外し方
メディア残量の印刷 24 メディアのカット 24 メディアの取り外し 25

### メンテナンス ...... **27**

メンテナンスの種類と実施時期 27
清掃箇所と実施時期 27
消耗品の交換・補充 28
定期メンテナンス 28
その他のメンテナンス 28
準備するもの 30

メンテナンス用品のご案内	50
インクパック	50
その他	50

インクのボタ落ちやノズル目詰まり	の対
処方法	<b>51</b>
ヘッドクリーニング	51

日動ヘットメンテナンス5		自動ヘッ	ドメンテナン	ンス	5	52
--------------	--	------	--------	----	---	----

# マニュアルの見方

# マークの意味

### 安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への 損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱 いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上 で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いを すると、人が死亡または重傷を負う可 能性が想定される内容を示していま す。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いを すると、人が傷害を負う可能性および 財産の損害の可能性が想定される内容 を示しています。

### -般情報に関する表示

!重要	必ず守っていただきたい内容を記載し ています。この内容を無視して誤った 取り扱いをすると、製品の故障や、動 作不良の原因になる可能性がありま す。
参考	補足説明や参考情報を記載していま す。
L.T.	関連する内容の参照先を示していま す。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に 表示される文字列は[]で囲んで示し ます。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示していま す。

# 掲載イラスト

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なるこ とがございます。ご了承ください。

# 動画マニュアルについて

メディアのセットや基本的なメンテナンス作業を紹介し た動画マニュアルを YouTube にアップしています。 動画マニュアルは、『オンラインマニュアル』のトップ ページで [Epson Video Manuals] をクリックしてご覧い ただくか、以下の手順でご覧いただけます。 オンラインマニュアルの開き方 CP 『一般情報』 (PDF)

スマートフォンやタブレット端末からは、以下の QR コー ドにアクセスしてご覧ください。



1	Yo
	1.

ouTube(http://youtube.com)へアクセス します。

画面上部の検索バーで、「Epson Video Manuals (LFP)」と入力して実行します。



検索結果の [Epson Video Manuals (LFP)] を クリックします。



お使いの機種の再生リストからご覧になる動画を 選んで再生します。



なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕ア イコン(下図の囲み部)をクリックしてください。



各部の名称





- メンテナンスカバー(左)
   ヒーター
   メディアガイドバー
   ハンドル
   紙管ホルダー 左/右
   ロールサポート(2個)
   廃インクボトル
   ストッパー
- ③ 遮熱板
  ① インクタンク
  ① スライダー
  ② ロックレバー
  ⑧ チェックランプ
  ① かくはん棒
  ⑤ 電源コネクター #1/#2
  ⑥ LAN ポート
- **1** USB ポート
  ③ メンテナンスカバー(右)
  ③ メディアセットレバー
  ④ 大型アラートランプ
  ④ 操作パネル
  ② 前面カバー





背面



# 基本の操作

# メディア取り扱い時のご注 意

以下の点を守らずにメディアを取り扱うと、メディア表 面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、ノズルの目詰まりや 印刷結果にインクのボタ落ちが生じる原因となります。

#### むき出しのままで直接メディアを床に置かない。

メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包 んで個装箱に入れて保管してください。



#### 衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばな い。

本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱っ てください。



# メディアセット時のご注意

#### <u> 注</u>意

- ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- ・メディアは重いので、1人で運ばないでください。
   40Kg 以上のメディアは、リフターの使用をお勧めします。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。
- メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

#### メディアは印刷直前にセットする。

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面に加 圧ローラーの跡が付くことがあります。また、メディア が波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリン トヘッドのこすれの原因となります。

#### 左右端が不ぞろいなメディアはセットしない。

ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、 メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原 因となります。端がそろうように巻き直してから使用す るか、問題のないロールを使用してください。



#### 使用できないメディア

下図のような折れ、しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどの あるメディアは使用しないでください。印刷時にメディ アの盛り上がりなどがプリントヘッドに接触して、プリ ントヘッドが破損することがあります。



メディアのセット方法

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 *△* 「動画マニュアルについて」4ページ



2 前面カバーを開けてからメディアセットレバーを 倒します。



3 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたま ま、プラテンの左右端へ退避させます。









#### !重要

ロールホルダーが紙管に十分に差し込まれていな いと、ロールホルダーと紙管が滑るため、印刷中 にメディア送りが正しく行えません。 このため、印刷結果にバンディングが生じること があります。

13 ロールホルダーを上から押し付けたまま、固定ネ ジを回らなくなるまできつく締めます。

ロールホルダーが動かないように固定してくださ い。



#### !重要

ロールホルダー固定ネジに緩みがあると、印刷中 にロールホルダーが動いてしまい、スジやムラが 生じ、印刷品質低下の原因となります。

14 以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンド ルを回します。



#### !重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さ ないでください。押し込みすぎるとロールホル ダーが破損するおそれがあります。 ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が 隠れないときは、ハンドルを巻き戻します。右側 のロールホルダー固定ネジを緩めて、手順4から やり直してください。



15 メディアを挿入口から 30cm ほど挿入し、メディ アセットレバーを下げます。





16 メディアの左端が、下図のラベルの四角の範囲内 を通っていることを確認します。



#### !重要

メディアの左端がラベルの黒い四角からはみ出し ているときは、必ず手順16から逆順で手順5ま で戻ってロールホルダーの位置を調整してくださ い。メディアをセットした状態で、ロールホル ダーの位置を動かさないでください。



18 メディアの中央を片手で持って、ヒーター上のラ ベルの下端までまっすぐに引き出します。



メディアを両手で引き出さないでください。メディ アが斜行・蛇行する原因となります。





20 メディアの両端を軽くたたいて、左右で張りに違いがあるか確認します。



張りに違いがあるときは、メディアが歪んで取り付 けられています。

本機正面に回り、メディアセットレバーを上げて、 メディアの歪みを直してください。

歪みを直したら、メディアセットレバーを下げま す。 21 メディア押さえ板のツマミを両側から押さえたま ま、メディア端の上まで移動します。 メディア押さえ板の丸穴の中央にメディアの端が 位置するように合わせます。

メディア押さえ板は、メディアの浮き上がりやメ ディア裁断面の毛羽がプリントヘッドに触れるのを 防ぎます。



#### !重要

- メディアの厚さが 0.4mm 以上あるときは、メ ディア押さえ板を使用しないでください。メ ディア押さえ板がプリントヘッドに接触し、プ リントヘッドが破損することがあります。
- 必ず、メディアの両端がメディア押さえ板の丸 い穴の中央に位置するように合わせてください。位置が正しくないと、印刷中にバンディン グ(水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ) が生じる原因となります。
- メディア押さえ板を使わないときは、それぞれのメディア押さえ板をプラテンの左右の端に移動してください。
- 印刷を行ったときに、メディアの左右端が汚れるときはメディア押さえ板を使用しないでください。



### 自動巻取りユニットの使い 方

自動巻取りユニットを使用すると、印刷後のメディアを 自動で巻き取りながら印刷できます。これにより無人運 転が効率よくできます。

本機の自動巻取りユニットは、以下のどちらかの方向で 巻き取ることができます。





内巻きは、印刷面を内側にして巻き取ります。通常は、 内巻きを推奨します。 外巻きは、印刷面を外側にして巻き取ります。

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 ∠ア「動画マニュアルについて」4ページ

#### 

メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しはマニュアルをご覧になり、正しく作業してください。

メディアや紙管、巻き取った印刷物が落下するとけ がをするおそれがあります。

メディア搬送ユニット、自動巻取りユニット動作中は、手や髪の毛などが稼動部に巻き込まれないように注意してください。
 けがをするおそれがあります。

### 正しく巻き取るための注意点

正しくメディアを巻き取るために、以下の点に注意して ください。

- メディアと同じ幅の巻き取り紙管を使用することをお勧めします。メディア幅と異なる巻き取り紙管を使用すると、巻き取り紙管がたわんで正しく巻き取れないことがあります。
- メディアは、内巻きで巻き取ることをお勧めします。外巻きは、メディアが蛇行して巻きずれが大きくなることがあります。外巻きで正しく巻き取れないときは、内巻きで巻き取ってください。
- 36 インチ未満のメディアは、蛇行して正しく巻き取れないことがあります。
- 下図のような巻き取り紙管は取り付けないでください。
   巻き取りテンションが均一にならないため空回りなどによって、正しく巻き取れなかったり、印刷結果にバンディングが生じたりします。

端が削れている



潰れている



紙管の取り付け

準備

メディアと同じ幅の巻き取り紙管を用意する。

市販の粘着テープを用意する。

### 取り付け方





!重要 メディアは、必ず【▼】ボタンを押して送り出し てください。手で引き出すと、巻き取り時にメ ディアがねじれる原因となります。 2 紙管ホルダー固定ネジを左右両側とも緩め、紙管 ホルダーをメディアの幅よりも外側に移動しま す。

ロールサポートが均等に配置されていないときは、 均等になるように移動します。



#### !重要

左側の紙管ホルダーのハンドルの軸が見えていないときは、下図のようにハンドルが回らなくなるまで回します。ハンドルの軸が見えていないと、紙管を正しく取り付けられません。



6



右側の紙管ホルダーをメディア右端に合わせて移 動します。



4 紙管ホルダーを上から押しつけたまま固定ネジを 締めて固定します。



- 5 右側の紙管ホルダーに紙管を差し込みます。
  - 左側の紙管ホルダーを紙管にしっかりと差し込み、紙管とメディアの端がずれていないことを確認します。



#### !重要

メディアの端がずれていると、メディアを正しく 巻き取れません。ずれているときは、右側の紙管 ホルダー固定ネジを緩めて、手順3からやり直し てください。



紙管ホルダーを十分に差し込むために、紙管ホル ダー上部をロール側に 2 回押しつけます。

紙管とメディアの端がずれていないことを確認しま す。



8 左側の紙管ホルダーを上から押し付けたまま固定 ネジを締めます。

紙管ホルダーが動かないように固定してください。



9 以下の図の A の部分が完全に入り込むまでハンド ルを回します。



#### !重要

A の部分が隠れたら、それ以上はハンドルを回さ ないでください。押し込みすぎると、紙管ホル ダーが破損するおそれがあります。 ハンドルが回らなくなるまで回しても A の部分が 隠れないときは、紙管ホルダーがしっかりと差し 込まれていない可能性があります。手順 6 からや り直してください。



カットすると、巻き取り開始時にメディア左右の角 が折れて巻き込まれ、均等に巻き取れなくなる不具 合を防げます。





続いて、巻き取り方向に応じて以下をご覧ください。 内巻きで巻き取るとき 二字 「内巻きでの巻き取り方」19 ページ

外巻きで巻き取るとき ∠ ア「外巻きでの巻き取り方」21 ページ

### 内巻きでの巻き取り方

メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りながら 紙管の裏側から表側に回して、市販の粘着テープ で貼り付けます。



#### !重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼 り付けてください。たるんだ状態で貼り付ける と、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となり ます。



2 操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取 り紙管1周分程度メディアを送り出します。



3 Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチを こう 側に押し続け、メディアを紙管に1周巻き取らせます。



4 Auto スイッチを ょ 🖓 にセットします。



#### 5 メディアが歪みなく取り付けられたか確認しま す。

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張り が異なっていると、正しく巻き取れません。どちら かがたるんでいるときは、手順1からやり直してく ださい。



#### 参考

下図のようにメディアの両端を軽くたたいても張りの 違いを確認できます。





6 メディアの両端が紙管まで届き 1~2 周巻き取ら れるまで、【▼】ボタンを押し続けます。



### 外巻きでの巻き取り方

メディアの中央部をまっすぐ下に引っ張りなが 1 ら、市販の粘着テープで巻き取り紙管に貼り付け ます。



#### !重要

メディアをぴんと張った状態で巻き取り紙管に貼 り付けてください。たるんだ状態で貼り付ける と、巻き取り時にメディアが蛇行する原因となり ます。

操作パネルの【▼】ボタンを押し続けて、巻き取 2 り紙管1周分程度メディアを送り出します。



Auto スイッチを Off にして、Manual スイッチ 3 を ( ) 側に押し続け、メディアを紙管に 1 周巻 き取らせます。



4 Auto スイッチを ( 🔓 にセットします。



5 メディアが歪みなく取り付けられたか確認しま す。

下図の囲みの部分のように、メディアの左右の張り が異なっていると、正しく巻き取れません。どちら かがたるんでいるときは、手順1からやり直してく ださい。





6 メディアが 1~2 周巻き取られるまで、【▼】ボ タンを押し続けます。



# セットしたメディアの設定

メディアのセットが終了したら、操作パネルの画面表示 に従って、セットしたメディアに対する次の設定を行い ます。



以下の設定で使用するボタン





【▼】/【▲】ボタンを押して、セットしたメディ アの印刷設定が登録されているメディア設定番号 を選択し、【OK】ボタンを押します。



新規のメディアで、まだメディア設定がされていな いときは、一旦未設定の番号を選択してメディアの 給紙完了後に簡単メディア設定を実施してくださ い。

メディア設定の方法 *凸*ア『ユーザーズガイド』(オン ラインマニュアル) 2 【▼】/【▲】ボタンを押して、セットしたロールの巻き仕様を選択し、【OK】ボタンを押します。

ロール巻き仕様設定	
✓ 印刷面外巻き	
■ 印刷面内巻き	
OK 決定 3 戻る	

3 セットしたメディアの長さを入力する画面が表示 されます。

【▼】/【▲】ボタンを押してメディアの全長を 1.0 ~600.0mの範囲で設定し、【OK】ボタンを 押します。

メディア長さ設定		
▲ 120.0 m ■		
範囲: OFF,1.0 - 600.0 m		
現在値: 120.0 m		
OK 決定 ► OFF		

メディア残量が印刷されているときは、その値を設 定します。

【▶】ボタンを押すと OFF を選択できます。OFF を 選択すると、残量管理は行われません。

- ◆考
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   ・
   の機能で、印刷前におおよそのメディア残
   量が確認できるため、メディア交換時期が把握しやす
   くなります。
   ・
- メディア残量の表示 設定したメディアの長さと印刷で使用した量からお およそのメディア残量を推定し、操作パネルの画面 に残量値を表示します。
- メディア残量警告 設定した値にメディアの残量が達すると警告メッセー ジが表示されます。

しばらくして画面に印刷可能と表示されたら、印刷がで きます。コンピューターから印刷するデータを送信して ください。

### 巻き取ったメディアの取り 外し方

メディアを交換するときは、以下の順番で作業をしてく ださい。

1.メディア残量を印刷する。(メディア残量管 理 ON 時)



#### \_\_\_\_\_\_ メディア残量の印刷

取り外すメディアの残りの長さを印刷しておき、次回こ のメディアをセットするときに印刷を見てメディア長さ を入力すれば、正確な残量管理に役立ちます。[残量管理 設定]を [OFF] にしているときには残量印刷はできませ ん。

メディア残量を印刷する方法を説明します。

以下の設定で使用するボタン



- 1 印刷可能状態であることを確認します。
- 2 【 印】ボタンを押し、[メディア残量管理]を選 択し、【ΟΚ】ボタンを押します。
- 3 [メディア残量印刷]を選択し、【OK】ボタンを 押します。
- 4 【OK】ボタンを押すと、メディア残量が印刷されます。

### メディアのカット

### 

- ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- メディアを切る際は、カッターなどの刃物で手や指 を切らないように注意してください。
- 1 【��】ボタンを押して[カット位置まで送る]を 選択し、【OK】ボタンを押します。

印刷終端がカット位置(カッター溝)まで送られま す。



メディア残量の印刷をしたときは、残量の印刷部分 が未印刷のロール側に残るように、【▲】ボタンを 押してカッター溝より向こう側に戻します。

2 カッターを垂直に持ち、カッターの刃がカッター 溝の側面にしっかり沿うように移動させます。

手が前面カバーに当たり、うまく作業ができないと きは前面カバーを開けてカットしてください。



#### !重要

メディアをカットしたときは、メディアが前面カ バーの内側で盛り上がったり、メディア押さえ板 から外れたりしていないことを確認してから印刷 してください。 3 Auto スイッチを Off にします。巻き取りの巻き 仕様に応じて Manual スイッチを操作して、切り 離したメディアを最後まで巻き取ります。



### メディアの取り外し

### <u> 注</u>意

- 巻き取り後のメディアが 20kg を越えるときは、取り外しや運搬は、2人以上で行ってください。
- メディア、紙管の取り付けや巻き取った印刷物の取り外しは、マニュアルをご覧になり正しく作業してください。

メディア、紙管、巻き取った印刷物が落下するとけ がをするおそれがあります。

**左側の紙管ホルダーのハンドルを回します。** 





巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの 左側を下から支えます。

3 左側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホ ルダーを引き抜きます。





5 巻き取ったメディアが落ちないように、ロールの 右側を下から支えます。



右側の紙管ホルダーの固定ネジを緩めて、紙管ホ ルダーを引き抜きます。



7 ロールをロールサポート上に降ろします。



8 背面の搬送ユニットのメディアは、セットしたと きと逆の手順で取り外します。

# メンテナンス

# メンテナンスの種類と実施時期

### 清掃箇所と実施時期

清掃を行わずに使い続けると、ノズルの目詰まりやインクのボタ落ちの原因となります。



実施時期	清掃箇所
毎日の作業開始時	● プラテン・メディア押さえ板 ☞「毎日の清掃」31 ページ
1 ヵ月に 1 回以上	<ul> <li>2 プリントヘッド周辺</li> <li>● キャップ</li> <li>● フラッシング用吸収材(汚れているとき)</li> <li>②「定期清掃の仕方」32ページ</li> <li>手順は YouTube から動画でご覧いただけます。</li> <li>②「動画マニュアルについて」4ページ</li> </ul>

#### !重要

本機は、精密機器です。プリントヘッドのノズル面は毛羽ゴミやホコリがわずかに付着しただけで印刷品質が低下します。

使用環境や使用メディアによっては、定期清掃の回数を増やしてください。

消耗品の交換・補充	
実施時期	交換箇所
操作パネルの画面に準備や交換を促すメッセージが表示されたとき	<ul> <li>● フラッシング用吸収材</li> <li>● ワイパーユニット</li> <li>△ ⑦「ヘッドクリーニングセットの交換」46 ページ</li> <li>● 廃インクボトル</li> <li>△ ⑦「廃インク処理」44 ページ</li> </ul>
操作パネルの画面にインクの残量警告が表示 されたら、できるだけ早く	<ul> <li>● インクの補充</li> <li>△ ⑦ 「インクの補充」 36 ページ</li> </ul>
変形したり破損したりしたとき	<ul> <li>●メディア押さえ板</li> <li>△ア『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)</li> </ul>

# 定期メンテナンス

実施時期	実施事項
1週間に1度	高濃度ブラックインクのかくはん ∠͡͡͡尔 「高濃度ブラックインクのかくはん手順」42 ページ

# その他のメンテナンス

下表の各メンテナンスの詳細は、『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)をご覧ください。

実施時期	実施事項
<ul> <li>ノズルが目詰まりしているか確認したいと</li> </ul>	ノズルの目詰まりチェック
• 目詰まりしている色を確認したいとき	
<ul> <li>水平方向のスジ/濃淡ムラ (バンディング)</li> <li>が見られるとき</li> </ul>	
ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まり が確認されたとき	ヘッドクリーニング

実施時期	実施事項
遮熱板の汚れでインクタンク内部が見えにく くなったと感じるとき	遮熱板の清掃
操作パネルの画面に注油を促すメッセージが 表示されたとき	キャリッジ軸に付属のグリスを塗る

### 準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。 インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専 用のものをご用意ください。

∠중 「メンテナンス用品のご案内」 50 ページ

手袋が終了したときは、市販のニトリル手袋をご用意く ださい。

#### 保護メガネ(市販品)

インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

#### マスク(市販品)

インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保 護します。

#### メンテナンス用品一式(本製品付属)

清掃全般で使用します。 以下の付属品がセットで入っています。



クリーンルーム用ワイパー(100枚)
 ピンセット(1個)

#### メンテナンスキット(本製品付属)

インク汚れを拭き取るときに使います。

以下の付属品がセットで入っています。



● インククリーナー(1個)
 ② カップ(1個)
 ③ 手袋(12枚)
 ④ クリーニング棒(25本)
 使い方 ∠3 「インククリーナーの使い方」32ページ

#### 金属トレイ(本製品付属)



清掃用具や取り外した消耗品、付属の容器に移したイン ククリーナーを置くのに使います。

#### 柔らかい布(市販品)

前面カバー内部の清掃で使用します。毛羽ゴミが出にく く、静電気が発生しにくいものをお使いください。

### 作業時のご注意

清掃や交換作業は、以下の注意点を守って行ってくださ い。

#### 

- インクパック、インククリーナー、グリス、廃イン クは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、
   マスクなどを着用してください。
   インクや廃インク、インククリーナー、グリスが皮

膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の 処置をしてください。

- 皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- 目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
- 口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- 飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相 談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管 に入ることがあり危険です。
- 清掃、ヘッドクリーニングセット交換時は、本機からメ ディアを取り外してから作業を始めてください。
- 清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に 触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因 となります。
- クリーニング棒は、付属または消耗品のもの以外は使わないでください。毛羽ゴミの出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度 使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する 原因となります。
- クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が 付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- プリントヘッド周辺やキャップ周辺などの清掃には、指定のインククリーナー以外は使わないでください。指定以外のものを使うと本機の故障や印刷品質低下の原因となります。

• 作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃 がしてください。

### 毎日の清掃

プラテン上やメディア押さえ板に毛羽ゴミやホコリ、イ ンクが付着していると、ノズルの目詰まりやインクのボ 夕落ちの原因となります。

きれいな状態で印刷が行えるように、毎日の作業開始前 に清掃することをお勧めします。

⚠ 注意

- ヒーターは、高温になっているので注意して作業してください。火傷のおそれがあります。
- 前面カバーを開閉するときは、手や指を挟まないよう注意してください。けがをするおそれがあります。

#### !重要

プラテン、メディア押さえ板の清掃には、インククリー ナーを使用しないでください。部品が傷つくおそれが あります。

 本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認 してから電源プラグをコンセントから抜きます。
 電源プラグは2つとも抜きます。



電源プラグを抜いたあと1分程放置します。

前面カバーを開けます。

4 水に浸してよく絞った柔らかい布で、プラテンに 付着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを拭き取りま す。

プラテンの溝に入り込んだ毛羽ゴミやホコリもきれ いに取り除いてください。



5 水に浸してよく絞った柔らかい布で、メディア押 さえ板の表面に付着した毛羽ゴミやホコリを拭き 取ります。

#### !重要

のり付きメディアを使用したときは、薄めた中性 洗剤を使用して拭き取ってください。裏面にのり が固着したまま使用し続けると、ヘッドこすれの 原因になることがあります。

#### のり付きメディアを使用したとき・インクが 付着したとき

メディア押さえ板を本機から取り外して、表裏両面 の汚れを拭き取ります。

汚れを拭き取ったら、必ず元通りに取り付けてくだ さい。

メディア押さえ板の取り外し方・取り付け方 *△* 『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)





定期清掃は、以下の順番で行います。

プリントヘッドの移動



プリントヘッド周辺の清掃



キャップ周辺の清掃

#### !重要

1ヵ月間清掃をしていないと、操作パネルの画面に以下のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、速やかに定期清掃を行ってください。 [マニュアルをご覧になり定期清掃を行ってください。]

### インククリーナーの使い方

インククリーナーは、マニュアルで指示した清掃箇所に 限り使用してください。部品が傷つくため、指示のない 箇所ではインククリーナーを使わないでください。 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠☞「作業時のご注意」30ページ





#### 2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませ ます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが 垂れないように注意してください。



クリーンルーム用ワイパーにインククリーナーを染 み込ませるときも、容器に注いだインククリーナー を使用してください。

#### !重要

- 清掃に使ったインククリーナーを次回清掃時に 使わないでください。汚れたインククリーナー を使うと、かえって汚れが付着します。
- インククリーナーは、蓋をしっかり閉めて高温
   多湿、直射日光を避けて常温で保管してください。
- 使用済みのインククリーナーやクリーニング 棒、クリーンルーム用ワイパーは、産業廃棄物 です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。

∠중「使用済み消耗品の処分」49ページ

### プリントヘッドの移動

プリントヘッドを清掃位置に移動する手順を説明します。

#### !重要

プリントヘッドの移動は、必ず以下の手順で行ってく ださい。プリントヘッドを手で移動すると故障の原因 となります。 以下の設定で使用するボタン





2

以下のステータス画面が表示されていることを確認し、【マイ】ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。



- 【▼】/【▲】ボタンを押して[ヘッドメンテナ ンス]を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 3 【▼】/【▲】ボタンを押して[定期清掃]を選 択し、【OK】ボタンを2回押します。

プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

#### **参考**

プリントヘッド移動後、10 分経過するとブザーが鳴ります (メーカー設定値)。【OK】ボタンを押して清掃を継続して ください。更に 10 分経過すると、再びブザーが鳴ります。

企で確認	
メンテナンス作業	管理的
10分経過	しました。
作業終了後	後にクリーニンク を
行ってくた	どさい。
閉じる	

### プリントヘッド周辺の清掃

プリントヘッドの周囲を確認し、インクの固まりや毛羽 ゴミ、ホコリが付いているときは、以下の手順で清掃を してください。

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠⑦「作業時のご注意」30ページ

1 プリントヘッドが左側に移動したことを確認し て、左側のメンテナンスカバーを開けます。



2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませ ます。

クリーニング棒、インククリーナーとも新品をお使いください。

△ ア「インククリーナーの使い方」32ページ



- クリーニング棒は、1手順ごとにインククリー ナーですすいでください。
- クリーニング棒でインクの固まりを取り除いた ときは、クリーンルーム用ワイパーで拭き取っ てください。

#### 3 矢印部分の固着したインクや毛羽ゴミ、ホコリを 拭き取ります。

両方のプリントヘッド周辺を拭き取ります。







5 図の□□部分のインクの固まりや毛羽ゴミ、ホコ リを拭き取ります。





左側のメンテナンスカバーを閉めます。

### キャップ周辺の清掃

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠☞「作業時のご注意」30ページ

#### キャップの清掃



2 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませ ます。

∠중 「インククリーナーの使い方」 32 ページ





4 クリーニング棒を縦にして、全てのキャップの外 周と全てのガイド部の内側を拭き取ります。



#### キャップ清掃時に点検する箇所

- •キャップ内側に毛羽ゴミが付着していないか。
- フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが付着していないか。

汚れていないとき:清掃終了です。 ∠☞「清掃の終了」36ページ 汚れているとき:次項をご覧になり必要な清掃を行 います。

### キャップ内に毛羽ゴミ、ホコリが付 いているとき

クリーニング棒の先端やピンセットで取り除いてくださ い。



他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。 ふ「清掃の終了」36ページ

### フラッシング用吸収材に毛羽ゴミが 付いているとき

クリーニング棒の先端で毛羽ゴミやホコリを取り除きま す。

#### !重要

表面の金具を変形させないようにしてください。変形 すると、プリントヘッドを傷つけるおそれがあります。



他に清掃する箇所がなければ、以下に進みます。 ⑦「清掃の終了」36ページ

### 清掃の終了

清掃が終了したら、右側のメンテナンスカバーを閉めて、 【OK】ボタンを押します。

プリントヘッドが通常位置に戻ると、設定メニューが終 了します。

続いて印刷するときは、ノズルチェックを行ってください。 「3」「ユーザーズガイド」(オンラインマニュアル) 使用済みのインククリーナーやクリーニング棒、クリー ンルーム用ワイパーの廃棄 \_3 「使用済み消耗品の処分」 49 ページ

# インクの補充

### インク補充の時期

操作パネルの画面に、[インク残量を確認してください。] とメッセージが表示されたら、速やかに、次の2点を対応してください。

- •対象の色の新しいインクパックをお手元に用意する。
- インク残量を確認してインクタンクの底面から 70mm
   以下になったら、チップユニットの交換とインクの補充 を行う。

1 色でも、[チャージ時期超過] または [インク残量 限界 値以下] になると印刷できません。印刷途中で、[インク 残量を確認してください。] のメッセージが表示されたと きは、印刷を継続しながらチップユニットの交換とイン クの補充が行えます。

本機で使用できるインクパック *△* 「メンテナンス用品の ご案内」 50 ページ

#### !重要

本機は、インク残量警告システムを搭載しています。 新品のインクパックに付属のチップユニットには、イ ンク1パック分の使用可能情報が登録されています。 チップユニットを本機に装着すると、この情報が本機 に書き込まれます。

インク残量警告システムは、本機に書き込まれたイン ク1パック分の使用可能情報とインクの使用状況から インク残量を推定して、メッセージを表示します。 このシステムの正確性を維持するには、インク残量が インクタンクの底面から70mm以下になったら、速や かにチップユニットの交換とインクの補充を行ってく

ださい。

チップユニットを本機に装着してインク1パック分の使 用可能情報を書き込むことを、「チャージ」と呼びます。 チャージ後は、本機に装着したチップユニットは不要に なります。新品のインクパックに付属のチップユニット と交換すると、必要に応じて自動でチャージが行われま す。

自動チャージのために新品のチップユニットを本機に装 着しておくことを、「予約」と呼びます。

予約は、推定インク残量のインジケーターの目盛りが 6~ 1 の範囲なら、いつでも行えます。

なお予約中は、推定インク残量が少なくったときの警告 が表示されません。インクがインクタンクの底面から 70mm 以下になっていたら、インク1パックを補充して ください。

チップユニットの交換方法は、「インク補充の手順」の手順 2~6 をご覧ください。

∠중 「インク補充の手順」 38 ページ

予約中かどうかは、チップユニットの状態アイコンで確 認できます。

### インク補充時のご注意

作業の前に製品安全データシートをお読みください。

製品安全データシートは、エプソンのホームページから 入手できます。 http://www.epson.jp/

### <u> 注</u>意

インクを補充するときは、以下の点に注意して作業し てください。

- インクパックのそそぎ口はゆっくり切ってください。
   勢いよく切り取ると、インクが飛び散ることがあります。
- ・開封後のインクパックは強く持たないでください。イン クが飛び出るおそれがあります。
- インクをインクタンクに注ぐ際は、インクパックをゆっくり傾けて注いでください。

#### !重要

- ・プリンター性能をフルに発揮するために、エプソン 純正品のインクパックを使用することをお勧めしま す。純正品以外のものをご使用になりますと、プリ ンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリン ター本来の性能を発揮できない場合があります。純 正品以外の品質や信頼性について保証できません。 非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障 については、保証期間内であっても有償修理となり ます。
- ・指定外のエプソン純正品インクパックを使用して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。
   △ア「メンテナンス用品のご案内」50 ページ

 インクタンクの上に物などを置いたり、強い衝撃を 与えないでください。インクタンクが外れることが あります。インクタンクが外れたときは、お買い求 めの販売店またはエプソンサービスコールセンター にご連絡ください。
 エプソンサービスコールセンターの連絡先 ∠☞ 裏表

紙

インク補充の手順

操作パネルの画面に [インク残量を確認してくだ さい。] と表示されたら、インクタンクのインク 残量をインクパックの目盛りで確認してくださ い。



#### インク残量がインクタンクの底面から 70mm の位置よりも多いとき

新品のインクパックの全量をインクタンクに補充で きるように、インク残量がインクタンク底面から 70mm になるまで使い続けることをお勧めします。

#### インク残量が 70mm 以下のとき

手順2に進んでください。

チップユニットを予約中は、手順7に進んでください。

#### !重要

インク残量がインクタンクの底面から 70mm よ りも多い状態で、[インク残量 限界値以下] と表 示されるときは、インクタンクの交換時期です。 インクタンクを交換してください。交換修理は、 有償となります。 交換修理時には、インクタンク内のインクは廃棄 します。これは、インクタンク内のインクに細か

い塵やホコリなどの異物が混入されたことが、イ ンクタンク不具合の原因となっているためです。 インクタンク交換に至る期間は、使用環境や使用 状況により異なります。

交換修理は、お買い求めの販売店またはエプソン サービスコールセンターにご連絡ください。 2 チップユニットを交換するスライダーのロックレ バーを引き上げます。



3 スライダー上部のくぼみに指をかけて、まっすぐ に引き抜きます。



#### !重要

スライダーは傾けないでください。チップユニットが落下すると破損の原因となります。



5 新品のインクパックに付属のチップユニットを取り付けます。

取り付け時は、スライダーとチップユニットのラベ ルの色が一致していることを確認してください。



6 スライダーを水平に持って挿入し、ロックレバー を下げます。



!重要

スライダーを勢いよく押し込まないでください。 故障の原因となります。

7 新しいインクパックを図のように水平方向に両側 約 5cm の振り幅で 5 秒間に 15 回程度よく振り ます。



操作パネルの画面にエラーや警告が表示されてい 8 ないことを確認してからスライダーの注入ロカ バーを開けます。

エラーや警告が表示されたときは、メッセージに 従ってエラー/警告の対応後に以降の作業に進んでく ださい。



9 インクタンクの注入口キャップを外します。

補充するインクの種類によって注入口キャップの外 し方が異なります。

#### !重要

注入口キャップをゆっくり外してください。勢い よくキャップを外すとインクが飛び散ることがあ ります。

#### 高濃度ブラックインク以外



高濃度ブラックインク

① 注入口キャップの突起部分をつまんで持ち上げ ます。他の部分を持って注入口キャップを外す と、インクが付着します。





② かくはん棒をインクタンクに引っかけます。





10 インクパックのそそぎ口を切り取ります。



11 インクタンクにインクパックのインクを補充しま す。

インクパックのそそぎ口をインクタンク注入口の溝 に当ててゆっくりと傾けてください。



#### !重要

インクパックのインクは残さず、一度で注ぎ切っ てください。 インクパックのインクは、複数のインクタンクに 注ぎ分けないでください。 インク残量警告システムのメッセージが適切に表 示されない原因となります。

#### 12 インクタンクに注入口キャップを付けます。 インクの種類によって注入口キャップの付け方が異 なります。

#### 高濃度ブラックインク以外



#### 高濃度ブラックインク



#### !重要

注入ロキャップは浮かないように確実に押し込ん でください。スライダーを引き抜く際に注入口 キャップと接触すると破損することがあります。 13 スライダーの注入ロカバーを閉めます。



インク補充時に遮熱板が汚れたときは、遮熱板を 取り外して清掃してください。 </r>
\_3『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)

### 高濃度ブラックインクのか くはん手順

高濃度ブラックインクは沈降しやすい特性があります。 インクタンク内のインクは、1週間に1度かくはんしてく ださい。沈降したまま使用すると印刷結果の色味が変わ ることがあります。 かくはんは、本機の電源の状態や印刷中に関わらず、い つでも行うことができます。 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

△ ア「作業時のご注意」 30 ページ



HDK インクラベルが貼られたスライダーの注入

1

2 インクタンクの注入ロキャップを外します。

注入ロキャップの突起部分をつまんで持ち上げま す。他の部分を持って注入口キャップを外すと、イ ンクが付着します。

#### !重要

注入口キャップはゆっくり外してください。勢い よくキャップを外すとインクが飛び散ることがあ ります。



#### 3 かくはん棒を、1 秒間で上下に 1 往復する動作を 15 回程度繰り返します。

上下動作はかくはん棒の引っかけ部が完全に見える まで引き上げ、注入口キャップがインクタンクに付 くまで下げてください。



#### !重要

かくはん棒はゆっくり動かしてください。勢いよ く動かすと、インクが飛び散ることがあります。



#### !重要

注入ロキャップは浮かないように確実に押し込ん でください。スライダーを引き抜く際に注入口 キャップと接触すると破損することがあります。 5 注入ロカバーを閉めます。



### 廃インク処理

#### 準備と交換時期

#### [空の廃インクボトルを準備してください。]と 表示されたとき

直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。 夜間稼動などのため、この段階で廃インクボトルを交換 するときは、設定メニューから [廃インクボトル交換] を実施して交換作業を行ってください。[廃インクボトル 交換]を実施せずに交換すると、廃インクカウンターが 正しく働かなくなります。

設定メニューの詳細 *△* 『ユーザーズガイド』(オンラ インマニュアル)

廃インクカウンター *△*☞「廃インクカウンターについ て」45 ページ

#### !重要

印刷中やヘッドクリーニング実行中は、画面に指示が ない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでく ださい。廃インクが漏れることがあります。

# 【空の廃インクボトルと交換して、OKを押してください。】と表示されたとき

直ちに廃インクボトルを新品と交換してください。 交換方法 △☞「廃インクボトルの交換」45ページ

### 廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウント し、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせしま す。[空の廃インクボトルと交換して、**OK**を押してく ださい。]のメッセージに従って新しい廃インクボトルに 交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。 このメッセージが表示される前に交換するときは、設定 メニューの[廃インクボトル交換]を実行してください。 *C* 『ユーザーズガイド』(オンラインマニュアル)

#### !重要

メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換し たときは、必ず廃インクカウンターをクリアしてくだ さい。次回から、廃インクボトルの交換時期を正しく お知らせできなくなります。

### 廃インクボトルの交換

以降の手順に従って、交換作業を行います。 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠37「作業時のご注意」 30 ページ 1 廃インクボトルを廃インクボトルホルダーから取 り出します。



2 新しい廃インクボトルの口を廃インクチューブに 差し込んでから、廃インクボトルホルダーに設置 します。

使用後の廃インクボトルはしっかり蓋をしてください。

#### !重要

- 必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。
- 新しい廃インクボトルの蓋は、廃インクを廃棄 するときに必要となります。捨てずに保管して おいてください。

3 ストッパーを下げます。



#### !重要

ストッパーをボトルの口に密着させてください。 隙間があると、廃インクが飛び散り、周囲が汚れ ることがあります。

4

【OK】ボタンを押します。

5 再度、新しい廃インクボトルが正しく装着されて いることを確認します。【OK】ボタンを押すと、 廃インクカウンターがクリアされます。

廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと 廃棄してください。

#### 参考

廃インクを廃インクボトルから別の容器に移すときは、以下 の点に留意してください。

- •移し替える側の容器は、PE 製をお使いください。
- 本製品に付属のそそぎ口を廃インクボトルの口に取り付け て廃インクを移してください。
- ・慎重に注いでください。勢いよく注ぐと廃インクがこぼれ たり飛び散ったりします。
- 廃インクを移し替えた容器は、しっかりと蓋を閉めて保管 してください。

使用済み廃インクと廃インクボトルの廃棄 27 「廃棄」 49ページ

# ヘッドクリーニングセット の交換

### 準備と交換時期

#### 【ヘッドクリーニングセットの交換時期が近づき ました】と表示されたとき

直ちに新しいヘッドクリーニングセットを手元に用意し てください。

夜間稼動などのため、この段階で交換するときは、設定 メニューから [ヘッドクリーニングセット交換]を実施 して交換作業を行ってください。[ヘッドクリーニング セット交換]を実施せずに交換すると、ヘッドクリーニ ングセットカウンターが正しく働かなくなります。 設定メニューの詳細 ∠☞ 『ユーザーズガイド』(オンラ インマニュアル)

#### !重要

ヘッドクリーニングセットカウンターについて 本機は、ヘッドクリーニングセットカウンターで使用 量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージ でお知らせします。 [②ヘッドクリーニングセット交換時期]のメッセー ジに従って新しいヘッドクリーニングセットと交換す ると、カウンターは自動的にクリアされます。 このメッセージが表示される前に交換するときは、設 定メニューから[ヘッドクリーニングセット交換]を 実行してください。 設定メニューの詳細 ∠☞ 『ユーザーズガイド』(オン ラインマニュアル) 【〇ヘッドクリーニングセット交換時期】と表示 されたとき

次項をご覧になり、ヘッドクリーニングセットに付属の パーツを一括して交換してください。交換しないと印刷 できません。

ヘッドクリーニングセットには、以下のパーツが入って います。

- ワイパーユニット (1個)
- •フラッシング用吸収材 (1個)
- 手袋(2枚)

交換用のヘッドクリーニングセットは、必ず本機専用の ものをお選びください。 ∠☞「メンテナンス用品のご案内」50 ページ

作業を行う前に、必ず以下をお読みください。 ∠⑦「作業時のご注意」30ページ

#### \_\_\_\_\_ ヘッドクリーニングセットの交 換方法

[& ヘッドクリーニングセット交換時期]の画面 で【OK】ボタンを押します。

- 2 確認のメッセージが2回表示されます。 1 画面ずつ内容をよく確認して【OK】ボタンを押 します。
- 3 プリントヘッドが左側に移動したことを確認し て、右側のメンテナンスカバーを開けます。



4 ワイパーユニットの奥のくぼみに指を掛けて、少 し手前に引き上げます。









7 新品のワイパーユニットを取り付けます。

取り付け部に載せて、カチッと音がするまで押し込 みます。



8 ワイパーユニットの交換が終了したら、【OK】ボ タンを押します。 9 フラッシング用吸収材は、つまみを持って引き上 げて取り外します。

取り外したフラッシング用吸収材は、金属トレイに 載せてください。



11 フラッシング用吸収材の交換が終了したら、 【OK】ボタンを押します。

- 12 メンテナンスカバーを閉めて【OK】ボタンを押 します。
- 13 画面に確認のメッセージが表示されます。内容を 確認して、[はい]を選択し【OK】ボタンを押し ます。

使用済みヘッドクリーニングセットの廃棄 23 「廃棄」 49ページ

### 使用済み消耗品の処分

#### 廃棄

使用済みの以下のインク付着物は産業廃棄物です。

- クリーニング棒
- クリーンルーム用ワイパー
- •インククリーナー
- 廃インク
- 廃インクボトル
- •ワイパーユニット
- •フラッシング用吸収材
- •印刷後のメディア

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令 に従って廃棄してください。委託時には、製品安全デー タシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。 製品安全データシートは、エプソンのホームページ (http://www.epson.jp) からダウンロードできます。

# メンテナンス用品のご案内

最新の情報は、エプソンのホームページ(http://www.epson.jp)をご覧ください。(2017年5月現在)

# インクパック

プリンター型番	商品名		型番
SC-F9350	インクパック	高濃度ブラック	SC5HDK100P
		シアン	SC5C100P
		マゼンタ	SC5M100P
		イエロー	SC5Y100P

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

# その他

商品名	型番	備考
ヘッドクリーニングセット	SC5HCS	以下のメンテナンス用消耗品がセットになって います。 ・ワイパーユニット(1個) ・フラッシング用吸収材(1個) ・手袋(2枚)
メンテナンスキット	SC5MKIT3	以下のメンテナンス用消耗品がセットになって います。 ・インククリーナー(1 個) ・カップ(1 個) ・手袋(12 枚) ・クリーニング棒(25 本)
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
クリーニング棒	SC2CS	製品付属のメンテナンスキットに付属のものと
クリーンルーム用ワイパー	SC2CRW	回寺面で9。

# インクのボタ落ちやノ ズル目詰まりの対処方 法

#### 現象

印刷結果に以下の状態が生じたら、以降の対処を行って ください。

#### インクのボタ落ち



#### ノズルが目詰まりする

<u> </u>	 

#### 対処

印刷結果が改善されるまで、以下の順番で対処を実施し てください。



# ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングには、[クリーニング(弱)][クリー ニング(強)]と2段階のレベルがあります。 最初は、[クリーニング(弱)]を実施してください。実 施後チェックパターンを印刷してかすれや欠けがあると きは [クリーニング(強)]を実施してください。

以下の設定で使用するボタン



印刷可能状態であることを確認して【 ☞ 】ボタ ンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

- 2 【▼】/【▲】ボタンを押して【クリーニング】 を選択し、【OK】ボタンを押します。
- 3 クリーニングのレベルを選択して【OK】ボタン を押します。

最初は、[クリーニング (弱)]を選択します。 2回目、3回目は、[クリーニング (強)]を選択し ます。

4 クリーニングを行うノズル列の指定方法を選択し ます。

#### 全列クリーニング

印刷されたチェックパターンの全てにかすれや欠け があるときに選択します。選択後は、手順6に進み ます。

#### クリーニングする列を選択

印刷されたチェックパターンで特定の番号(ノズル 列)のパターンにかすれや欠けがあるときに選択し ます。ノズル列は複数選択できます。

#### 5 ヘッドクリーニングするノズル列を選択します。

- (1) 【▼】/【▲】ボタンを押してかすれや欠け があるチェックパターンの番号が含まれて いるノズル列を選択し、【OK】ボタンを押 します。
- (2) ヘッドクリーニングするノズル列を全て選び終わったら[選択を決定し実行]を選択して【OK】ボタンを押します。

6 ヘッドクリーニングが開始されます。

ヘッドクリーニングが終了すると、確認のメッセー ジが表示されます。

7 チェックパターンを印刷して目詰まりを確認する ときは、【▼】/【▲】ボタンを押して【ノズル チェック】を選択し、【OK】ボタンを押します。

すでにチェックパターンを印刷したメディアの余白 にチェックパターンを印刷するときは、印刷開始位 置が加圧ローラーの位置にくるまで【▲】ボタンを 押してメディアを戻してください。

8 任意の印刷位置を選択して【OK】ボタンを押し ます。

ー度チェックパターンを印刷した余白に並べて印刷 するときは[印刷位置(中央)]か[印刷位置(左)] を選択します。セットしているメディア幅によっ て、表示される内容が変わります。

【OK】ボタンを押すとチェックパターンの印刷が 始まります。

9 必要に応じてメディアをカットして印刷された チェックパターンを確認します。

かすれや欠けがないとき 通常の作業を再開してください。

かすれや欠けがあるとき 手順1に戻ってクリーニング(強)を実施します。 [クリーニング(強)]を2回実施してもノ ズルの目詰まりが解消されないとき プリントヘッド周辺が汚れているおそれがありま す。次項の[自動ヘッドメンテナンス]を実施して ください。

### 自動ヘッドメンテナンス

自動ヘッドメンテナンスは、ヘッドクリーニングを実施 してもインクのボタ落ちやノズルの目詰まりが解消され ないときに実施します。

#### !重要

自動ヘッドメンテナンスは、1日に何度も行わないで ください。頻繁に行うと、プリントヘッドを傷めます。

#### 以下の操作で使用するボタン



1 印刷可能状態であることを確認して【☞】ボタンを押します。

メンテナンスメニューが表示されます。

2 【▼】/【▲】ボタンを押して [ヘッドメンテナ ンス]を選択し、【OK】ボタンを押します。



4 【OK】ボタンを押します。

自動ヘッドメンテナンスが開始されます。 自動ヘッドメンテナンスが終了すると、設定メニュー が終了します。

自動ヘッドメンテナンスを行ってもインクのボタ落ちや ノズルの目詰まりが解消されないときは、プリントヘッ ドやキャップ周辺の清掃を行います。 ∠☞「定期清掃の仕方」32 ページ

エプソンのホームページ	http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバー類の提供、	サポート案内等のさまざまな情報を満載したエブノンのホームページです。
)修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)	
050-3155-8690	
◎上記電話番号をご利用できない	い場合は、042-585-8431へお問い合わせください。
製品の新規ご購入に関する	ご質問・ご相談先
製品の購入をお考えになっている7	うの専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。
050-3155-8380	
◎上記電話番号をご利用できない	- い場合は、042-585-8413へお問い合わせください。
上記050で始まる電話番号はK 上記電話番号をご利用いただけが おかけくださいますようお願いい	DDI株式会社の電話サービスを利用しています。 よい場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただくか、各◎印の電話番号に いたします。
ショールーム *詳細はホーム エプソンスクエア新宿 〒1 【P	aページでもご確認いただけます。http://www.epson.jp/showroom/ 60-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階 1館時間】月曜日〜金曜日 10:00〜17:00(祝日、弊社指定休日を除く)
MyEPSON	
エフソン製品をご愛用の方も、おおおすすめ最新情報をお届けしたり、 さあ、今すぐアクセスして会員登録し	ちでない方も、エブソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にビッタリの ブリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。 よう。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。 最新の情報はエプソンのホームページ(http://www.epson.jp/support)にてご確認ください。

エプソン販売株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー 29階

セイコーエプソン株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

商業(捺染) 2016.03